



## 2026年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズホールディングス  
 コード番号 2792 URL <https://www.honeys.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 英介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 成展 (TEL) 0246-29-1111  
 定時株主総会開催予定日 2026年8月25日 配当支払開始予定日 2026年8月10日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年8月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期の連結業績 (2025年6月1日～2026年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	56,182	△2.6	4,619	△21.8	4,857	△18.9	2,845	△23.8
2025年5月期	57,701	2.0	5,906	△15.3	5,989	△17.7	3,732	△23.5

(注) 包括利益 2026年5月期 5,909百万円 ( 314.9%) 2025年5月期 1,424百万円 ( △74.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年5月期	102.08	—	6.1	8.8	8.2
2025年5月期	133.92	—	8.3	11.3	10.2

(参考) 持分法投資損益 2026年5月期 ー百万円 2025年5月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	57,607	49,087	85.2	1,760.81
2025年5月期	52,997	44,706	84.4	1,603.84

(参考) 自己資本 2026年5月期 49,087百万円 2025年5月期 44,706百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年5月期	4,659	△1,419	△1,533	15,113
2025年5月期	4,918	△2,264	△1,532	13,355

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年5月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,533	41.1	3.4
2026年5月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,533	53.9	3.3
2027年5月期(予想)	—	25.00	—	30.00	55.00		—	

### 3. 2027年5月期の連結業績予想 (2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,700	△0.7	2,200	△19.5	2,200	△21.0	1,400	△20.9	50.21
通期	56,500	0.6	4,000	△13.4	4,000	△17.7	2,500	△12.2	89.67

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期	27,900,000株	2025年5月期	27,900,000株
② 期末自己株式数	2026年5月期	22,223株	2025年5月期	25,223株
③ 期中平均株式数	2026年5月期	27,876,937株	2025年5月期	27,871,980株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年5月期の個別業績(2025年6月1日~2026年5月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	39,078	△1.5	4,857	△9.2	5,080	△5.3	3,872	△8.9
2025年5月期	39,664	10.1	5,352	55.6	5,365	56.8	4,250	86.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年5月期	138.90		—					
2025年5月期	152.50		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年5月期	55,040		45,355		82.4	1,626.94		
2025年5月期	49,362		40,171		81.4	1,441.12		

(参考) 自己資本 2026年5月期 45,355百万円 2025年5月期 40,171百万円

2. 2027年5月期の個別業績予想(2026年6月1日~2027年5月31日)

個別業績予想につきましては、2017年3月1日より持株会社に移行しており、投資情報としての重要性が大きくなると判断されるため、記載を省略しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、次頁以降の添付資料をご覧ください。

・当社は2026年7月7日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	13
販売の状況	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。個人消費は一部に持ち直しの動きがみられた一方、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安の進行等を背景とした物価上昇の継続により、消費者マインドへの影響もみられるなど、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

婦人服専門店業界においては、気温変動や天候不順により季節商品の立ち上がり時期がずれ込むなど、需要予測の難易度が高い状況が続いたほか、仕入原価の上昇に加え、人件費や物流費などのコストの増加、消費者の節約志向の継続など、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは高いアセアン生産比率を維持し、「高感度・高品質・リーズナブルプライス」をキーコンセプトとして掲げ、お客様視点による「高品質な商品、丁寧な接客、居心地の良い店舗」の実現に努めました。また、お客様のニーズに対応した商品企画、自社ECサイトのユーザビリティ向上に努めたほか、SNS等を活用した集客・販促活動を積極的に展開しました。

当連結会計年度の経営成績は以下のとおりです。

		2025年5月期 連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	2026年5月期 連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)	増減	増減率
売上高	(百万円)	57,701	56,182	△1,519	△2.6%
営業利益	(百万円)	5,906	4,619	△1,286	△21.8%
経常利益	(百万円)	5,989	4,857	△1,131	△18.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	(百万円)	3,732	2,845	△886	△23.8%
連結店舗数	(店舗数)	872	864	△8	△0.9%

当連結会計年度におきましては、売上高561億82百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益46億19百万円（同21.8%減）、経常利益48億57百万円（同18.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益28億45百万円（同23.8%減）となりました。

売上高につきましては、上代を値ごろな価格へ見直したことで買上点数の改善に一定の効果があったものの、依然として節約志向が強く、客数は伸び悩みました。また、10月中旬まで夏が長期化したことで、夏物の消化は進んだものの、春・秋の短期化など気温の影響を受ける場面が多く、秋物のプロパー販売が苦戦したほか、下期は特に春物の在庫調整を行ったことが主な要因となり、売上高は前年同期比で減収となりました。

EC事業においては、引き続きECサイト内のユーザビリティの改善、サイト内回遊率などの向上を図ったことで伸長しました。

収益面につきましては、ミャンマー子会社を有効活用した生産体制と高いアセアン生産比率を維持し、安定した商品供給を実現しましたが、値ごろな価格への見直しに加え、円安による仕入原価上昇の影響を受けたほか、セール販売の割合が増えたことなどにより、売上総利益率は58.9%（前年同期比0.3ポイント減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、284億53百万円（前年同期比0.7%増）と増加しましたが、概ね計画どおりに進捗しました。販管費率は売上高が計画を下振れたことで50.7%（前年同期比1.7ポイント増）となりました。人件費は、主に給与が増加し、店舗費は、主にEC関連の広告宣伝費が増加しました。その他経費では、主にキャッシュレス決済等にかかる販売手数料のほか、システム運営費や減価償却費等が増加しました。

以上の結果、売上高の減少に伴い各利益は減益となりました。

店舗展開につきましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当連結会計年度末における国内店舗数は864店舗となりました。

なお、当連結会計年度より、日本の単一報告セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べて、46億10百万円増加して576億7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が17億57百万円、売掛金が1億53百万円、為替予約が38億38百万円それぞれ増加し、棚卸資産が6億93百万円、有形固定資産が4億28百万円、繰延税金資産が6億31百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

### (負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べて、2億29百万円増加して85億20百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が6億28百万円、資産除去債務が1億54百万円それぞれ増加し、買掛金が2億37百万円、未払法人税等が2億99百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

### (純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、43億80百万円増加して490億87百万円となりました。これは主に、繰延ヘッジ損益が26億29百万円、利益剰余金が13億12百万円それぞれ増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は85.2%となり、安定した財務状態を維持しております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて17億57百万円増加し、151億13百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、46億59百万円（前連結会計年度比5.3%減）となりました。

これらは、税金等調整前当期純利益が43億43百万円（同23.3%減）、減価償却費が13億84百万円生じたことに加え、棚卸資産が6億94百万円減少し、資金が増加した一方で、法人税等の支払額19億62百万円により、資金が減少したことが主な要因であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億19百万円（同37.3%減）となりました。

これらは、新規出店及び改装のほか、物流センター遮熱材設置工事等に伴う有形固定資産の取得として11億17百万円を支出したことにより、資金が減少したことが主な要因であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億33百万円（同0.0%増）となりました。

これらは、配当金の支払額15億33百万円により、資金が減少したことが主な要因であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期
自己資本比率 (%)	81.1	81.3	84.8	84.4	85.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	63.5	81.2	87.2	80.1	69.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内景気は、雇用環境の底堅さや賃上げ継続を背景に緩やかな回復基調を見込む一方、物価動向、円相場や資源・エネルギー価格等を受けて先行き不透明感が残る見通しです。個人消費は、所得環境の改善を背景に緩やかな持ち直しが期待されるものの、生活必需品を中心とした物価上昇の影響から節約志向が当面強まり、消費面での二極化が続くと見込まれます。また、安定しない中東情勢に伴う原油高や海上輸送の不確実性等を背景に、原材料のみならず物流コストの上振れリスクが解消されないことから、仕入コストの増加や納期変動が収益の下押し要因となる可能性があります。

このような状況のなか、当社グループは、アセアン中心の生産体制を最大限に活用することで「高感度・高品質・リーズナブルプライス」を基盤とするグループの強みを活かした魅力ある商品づくりを継続していくとともに、幅広い年齢層のお客様における、多様化する需要へ訴求してまいります。

また、適正価格の追求や付加価値の探究を継続していくとともに、店舗の立地環境や特徴に沿った柔軟な商品投入と適時適切な在庫管理にも努めてまいります。

そのほか、環境へ配慮した素材等の採用にも取り組み、サステナブルな社会へ貢献していくとともに、従業員の処遇改善や人材確保・育成を通して、従業員満足の向上にも努めてまいります。

EC事業においては、更なる売上拡大を目指し、店舗との相互送客や販売機会のロス軽減などにつながるOMO戦略を強化し、店舗受取のサービス向上や自社ECサイトのユーザビリティ改善等を継続していくほか、WEB広告やSNS等を活用した情報発信にも力を入れ、新規会員の獲得と既存会員の深耕を図ってまいります。

これらにより、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高565億円（当連結会計年度比0.6%増）、営業利益40億円（同13.4%減）、経常利益40億円（同17.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益25億円（同12.2%減）と増収減益を見込んでおります。

また、2026年5月期の実績状況ならびに現下における次期の見通しを踏まえ、2028年5月期を最終年度とする中期経営計画（2026年5月期－2028年5月期）を見直しました。その詳細につきましては、本日、当社ホームページに掲載いたしました「中期経営計画の見直しに関するお知らせ」を参照ください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,355,934	15,113,510
売掛金	4,514,550	4,668,341
金銭の信託	533,923	643,601
棚卸資産	10,849,458	10,156,351
未収還付法人税等	—	62,397
為替予約	690,535	4,529,270
その他	844,874	856,921
流動資産合計	30,789,275	36,030,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,793,048	20,069,117
減価償却累計額	△10,042,840	△10,606,795
建物及び構築物（純額）	9,750,207	9,462,321
機械装置及び運搬具	1,378,390	1,391,796
減価償却累計額	△792,658	△894,247
機械装置及び運搬具（純額）	585,732	497,549
土地	1,918,400	1,918,400
建設仮勘定	32,763	12,962
その他	3,482,168	3,596,497
減価償却累計額	△2,593,842	△2,740,415
その他（純額）	888,325	856,082
有形固定資産合計	13,175,430	12,747,315
無形固定資産		
その他	245,449	188,293
無形固定資産合計	245,449	188,293
投資その他の資産		
投資有価証券	966,468	1,275,914
繰延税金資産	1,026,750	395,043
差入保証金	6,765,279	6,658,465
その他	70,039	353,440
貸倒引当金	△41,129	△41,129
投資その他の資産合計	8,787,408	8,641,734
固定資産合計	22,208,288	21,577,343
資産合計	52,997,563	57,607,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	629,689	392,130
未払法人税等	987,197	687,631
ポイント引当金	134,704	138,442
契約負債	128,094	136,037
資産除去債務	30,148	17,577
未払費用	2,563,568	2,607,856
その他	745,126	812,310
流動負債合計	5,218,529	4,791,985
固定負債		
退職給付に係る負債	1,253,424	1,112,687
資産除去債務	1,802,582	1,969,708
繰延税金負債	3,084	631,217
その他	12,990	14,640
固定負債合計	3,072,081	3,728,253
負債合計	8,290,611	8,520,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,950,696	3,951,585
利益剰余金	38,492,111	39,804,708
自己株式	△28,619	△25,267
株主資本合計	45,980,988	47,297,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,040	449,593
繰延ヘッジ損益	477,384	3,107,079
為替換算調整勘定	△2,132,756	△2,033,188
退職給付に係る調整累計額	143,295	266,187
その他の包括利益累計額合計	△1,274,035	1,789,672
純資産合計	44,706,952	49,087,498
負債純資産合計	52,997,563	57,607,737

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	57,701,337	56,182,022
売上原価	23,550,676	23,108,837
売上総利益	34,150,660	33,073,185
販売費及び一般管理費	28,244,540	28,453,686
営業利益	5,906,119	4,619,498
営業外収益		
受取利息	27,744	51,800
受取配当金	4,859	5,278
為替差益	6,456	—
受取地代家賃	14,988	14,686
受取補償金	17,785	2,760
助成金収入	1,331	20,384
金銭の信託運用益	—	109,678
デリバティブ評価益	—	69,769
雑収入	24,833	22,465
営業外収益合計	98,000	296,822
営業外費用		
為替差損	—	56,225
金銭の信託運用損	11,351	—
雑損失	3,459	2,096
営業外費用合計	14,811	58,322
経常利益	5,989,308	4,857,998
特別利益		
その他	1,166	1,198
特別利益合計	1,166	1,198
特別損失		
固定資産除却損	103,649	61,443
減損損失	224,391	452,027
その他	38	2,256
特別損失合計	328,079	515,727
税金等調整前当期純利益	5,662,395	4,343,470
法人税、住民税及び事業税	1,993,937	1,598,499
法人税等調整額	△64,298	△100,815
法人税等合計	1,929,639	1,497,683
当期純利益	3,732,755	2,845,786
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,732,755	2,845,786

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
当期純利益	3,732,755	2,845,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,340	211,553
繰延ヘッジ損益	△816,219	2,629,695
為替換算調整勘定	△1,609,427	99,567
退職給付に係る調整額	102,894	122,891
その他の包括利益合計	△2,308,412	3,063,707
包括利益	1,424,343	5,909,494
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,424,343	5,909,494
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,566,800	3,946,166	36,292,171	△39,792	43,765,345
当期変動額					
剰余金の配当			△1,532,816		△1,532,816
親会社株主に帰属する当期純利益			3,732,755		3,732,755
自己株式の取得				△166	△166
自己株式の処分		4,530		11,340	15,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	4,530	2,199,939	11,173	2,215,643
当期末残高	3,566,800	3,950,696	38,492,111	△28,619	45,980,988

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	223,699	1,293,604	△523,329	40,401	1,034,376	44,799,722
当期変動額						
剰余金の配当					—	△1,532,816
親会社株主に帰属する当期純利益					—	3,732,755
自己株式の取得					—	△166
自己株式の処分					—	15,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,340	△816,219	△1,609,427	102,894	△2,308,412	△2,308,412
当期変動額合計	14,340	△816,219	△1,609,427	102,894	△2,308,412	△92,769
当期末残高	238,040	477,384	△2,132,756	143,295	△1,274,035	44,706,952

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,566,800	3,950,696	38,492,111	△28,619	45,980,988
当期変動額					
剰余金の配当			△1,533,188		△1,533,188
親会社株主に帰属する当期純利益			2,845,786		2,845,786
自己株式の取得				△227	△227
自己株式の処分		888		3,579	4,467
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	888	1,312,597	3,351	1,316,837
当期末残高	3,566,800	3,951,585	39,804,708	△25,267	47,297,826

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	238,040	477,384	△2,132,756	143,295	△1,274,035	44,706,952
当期変動額						
剰余金の配当					—	△1,533,188
親会社株主に帰属する当期純利益					—	2,845,786
自己株式の取得					—	△227
自己株式の処分					—	4,467
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	211,553	2,629,695	99,567	122,891	3,063,707	3,063,707
当期変動額合計	211,553	2,629,695	99,567	122,891	3,063,707	4,380,545
当期末残高	449,593	3,107,079	△2,033,188	266,187	1,789,672	49,087,498

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,662,395	4,343,470
減価償却費	1,336,692	1,384,467
減損損失	224,391	452,027
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	87,216	79,322
ポイント引当金の増減額(△は減少)	48,033	3,738
契約負債の増減額(△は減少)	△218,221	7,942
受取利息及び受取配当金	△32,604	△57,078
固定資産除却損	103,649	61,443
売上債権の増減額(△は増加)	△662,924	△153,791
棚卸資産の増減額(△は増加)	△220,307	694,586
仕入債務の増減額(△は減少)	269,595	△237,029
未払金の増減額(△は減少)	31,933	10,397
未払費用の増減額(△は減少)	154,675	34,891
未収消費税等の増減額(△は増加)	△17,097	50,148
未払消費税等の増減額(△は減少)	△119,213	96,688
その他	188,831	△206,293
小計	6,837,045	6,564,931
利息及び配当金の受取額	32,604	57,078
法人税等の支払額	△1,950,752	△1,962,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,918,898	4,659,795
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,991,489	△1,117,535
無形固定資産の取得による支出	△37,763	△36,031
投資有価証券の取得による支出	△1,041	△1,059
差入保証金の差入による支出	△184,556	△228,287
差入保証金の回収による収入	102,509	248,472
資産除去債務の履行による支出	△91,751	△81,557
その他	△60,302	△203,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,264,395	△1,419,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△163	△223
自己株式の処分による収入	—	77
配当金の支払額	△1,532,816	△1,533,188
その他	△2	251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,532,982	△1,533,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	△628,628	50,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	492,891	1,757,575
現金及び現金同等物の期首残高	12,863,043	13,355,934
現金及び現金同等物の期末残高	13,355,934	15,113,510

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報を入手したことに伴い、見積りの変更を行いました。

当該見積りの変更による資産除去債務の総額は、工事費や物価上昇等の影響により175,124千円増加し、変更前の残高に加算しております。また、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ59,768千円減少しております。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、日本のみであり、単一報告セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

従来、当社グループの報告セグメントは、「日本」、「ミャンマー」としておりましたが、当連結会計年度より「日本」の単一報告セグメントへ変更しております。

この変更は、「ミャンマー」セグメントの全セグメントに占める割合が僅少であり開示情報として重要性が乏しくなったため、セグメント区分の見直しを行ったものであります。

この変更により、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	1,603円84銭	1,760円81銭
1株当たり当期純利益	133円92銭	102円08銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,732,755	2,845,786
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,732,755	2,845,786
普通株式の期中平均株式数(株)	27,871,980	27,876,937

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2025年5月31日)	当連結会計年度末 (2026年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	44,706,952	49,087,498
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	44,706,952	49,087,498
普通株式の発行済株式数(株)	27,900,000	27,900,000
普通株式の自己株式数(株)	25,223	22,223
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	27,874,777	27,877,777

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 販売の状況

## 品目別販売実績

品目	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)		当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)			
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	前期比(%)	
商 品 売 上	トップス	31,093,643	53.9	30,641,128	54.5	98.5
	ボトムス	10,911,843	18.9	10,458,455	18.6	95.8
	外衣	8,301,125	14.4	7,617,613	13.6	91.8
	雑貨	7,377,520	12.8	7,447,214	13.3	100.9
	小計	57,684,132	100.0	56,164,412	100.0	97.4
その他の収益	17,205	0.0	17,609	0.0	102.4	
合計	57,701,337	100.0	56,182,022	100.0	97.4	

(注) その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。